

2022 年 6 月 30 日
法政大学社会連携教育センター

2022 年度「地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～」
参加者募集について

法政大学では、「社会全体の市民教育に貢献し、民主的で力強い持続可能社会を創造する」という方針のもと、教育と研究の成果を社会に還元することによって、社会連携・社会貢献・国際協力を進めています。その中で、社会連携教育センターでは、企業・地方自治体・地域社会と連携した教育プログラムの開発・実施をしており、その 1 つとして「地方共創プログラム」を行っています。

本プログラムでは、地方自治体から提示されたテーマに対して、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案します。

学生の皆さんはグループに分かれ、現地フィールドワークを経て、テーマに沿って事前の文献調査、地方自治体や地元企業等へのオンラインインタビュー等を行い、プランの企画を進めます。

地方自治体や地元企業等とのやり取りや具体的な政策提案などの経験を通じて、社会人基礎力の養成に役立ちます。また、所属学部に関わらず参加することができ、多様な学びができることも本プログラムの特徴です。

2022 年度の対象地域は「大分県杵築（きつき）市」です。杵築市は本学の創設者である金丸鉄・伊藤修のふるさとであり、杵築市と法政大学は連携・協力協定を締結し、様々な取り組みを実施しています。

参加を希望する方は、以下の要領により申請してください。

1 募集概要

- (1) テーマ 「アフターコロナにおける観光振興」
- (2) 応募方法 以下のフォームへアクセスし、必要事項を入力の上、申請してください。

※法政大学 Gmail へのログインが必要です。

URL : <https://forms.gle/s7MWKBrtpsDwRG8g7>

- (3) 募集期間 2022 年 6 月 30 日（木）～7 月 17 日（日）
- (4) 募集人員 20 名程度
- (5) 活動期間 2022 年 8 月上旬～12 月上旬

※授業期間中は、学業に支障のない範囲での活動となります。

2 応募資格 以下の要件をすべて満たす者とします。

(1) 本学学部生（通学課程）・大学院生

（通信教育部生・科目等履修生、休学等長期に就学を中断している者を除く）

(2) 地方創生に強い関心をもち、地域の方々や本プログラムメンバーと協力しながら、プログラムに積極的に取り組むことができる者

(3) 感染対策をしたうえで9月に予定されている現地フィールドワークに参加できる者

(4) 本プログラム活動中、大学の指示に従うことができる者

3 選考について

申請時に記入された志望理由等に基づき選考を行います。

7月19日（火）までに選考結果を法政大学メールアドレス宛に送付します。メールが届かない場合は、事務局までご連絡ください。

4 スケジュール（予定） 詳細は参加者に追って通知します。

7月19日（火）	選考結果通知
8月3日（水）（予定）	ガイダンス・キックオフワークショップ 市ヶ谷キャンパスにて対面実施します。
8月上旬～下旬	グループワーク及び個人ワーク（文献調査等）
9月6日（火）～8日（木）（予定）	大分県杵築市での現地フィールドワーク（2泊3日） 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンラインフィールドワークへ変更する可能性があります。
10月上旬～下旬	グループワーク・オンラインインタビュー 提案プランの作成、各種調査、オンラインインタビュー先・内容の検討、インタビュー実施
11月上旬	中間発表会 オンラインにて実施します。
12月上旬	最終発表会 市ヶ谷キャンパスにて対面実施します。

5 参加費用

対面実施のワークショップ等に際する交通費や、現地フィールドワーク参加に係る費用として、総額50,000円程度が必要となります。詳細は参加者にご案内します（現地フィールドワークの概算は以下参照）。

なお、本プログラムには、本学校友会を通じて募った寄付金「地方共創プログラム活動奨励金」により、1人当たり30,000円程度の補助を行う予定です。

【現地フィールドワーク参加に係る費用参考（航空会社ホームページ等より算出）】

費用想定額 約 46,000 円

フィールドワーク日程を9月6日（火）～9月8日（木）と仮定した場合の目安

内訳：＜航空代＞羽田空港 ⇒ 大分空港 15,000 円

大分空港 ⇒ 羽田空港 16,000 円

※搭乗日 45 日前までの「先得タイプ B」で予約を利用した場合

＜宿泊代＞2 泊

15,000 円

※地方共創プログラム活動奨励金が1人当たり 30,000 円の場合、自己負担金額は約 16,000 円となります。

6 その他

- (1) 本プログラムの単位認定はありません。
- (2) 本プログラムの運用において、本学校友会を通じて募った寄付金「地方共創プログラム活動奨励金」が活用されます。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染状況等によっては、現地フィールドワークをオンラインフィールドワークに切り替える等、プログラムの内容を変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- (4) 現地フィールドワークは、後日大学が指定する期間内に PCR 検査もしくはそれと同程度の検査（抗原検査等）を受け、結果が陰性であることを参加条件とします。
条件を満たさない場合は現地フィールドワークには参加できませんので、ご承知おきください。

7 実施体制

主 催：法政大学社会連携教育センター

プログラムコーディネーター：高田 朝子

（本学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授）

協 力：大分県杵築市

8 お問い合わせ

法政大学社会連携教育センター（事務局：学務部教育支援課）

Mail : kyoiku@hosei.ac.jp

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名を「地方共創プログラムに関して：～」

とし、本文には、学生証番号・氏名・所属・学年を明記してください。

以 上

2022年度 地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～

大分県杵築市 参加者募集

地方自治体から提示されたテーマに対して、地域活性化の貢献に繋がる実現可能なプランを企画・提案するプログラムです。

学生の皆さんはグループに分かれ、現地フィールドワークを経て、テーマに沿って事前の文献調査、地方自治体や地元企業等へのオンラインインタビュー等を行い、プランの企画を進めます。2022年度の対象地域は本学創設者とかかわりの深い**大分県杵築(きつき)市**です。皆さんのご応募をお待ちしております。

プログラム概要

- 【テーマ】 「アフターコロナにおける観光振興」
- 【活動期間】 2022年8月上旬～12月上旬 詳細は募集要項を参照
- 【対象】 本学学部生(通学課程、科目等履修生除く)・大学院生
- 【応募資格】 募集要項記載の要件をすべて満たす者
※2021年度本プログラム参加者も応募可能です。
- 【参加費】 対面実施のワークショップ等に際する交通費や、現地フィールドワーク参加に係る費用が必要となります(一部補助あり)。
詳細は募集要項を確認してください。
- 【募集人数】 20名程度
※応募者多数の場合は申請時に記入された志望理由等に基づき選考を行います。
- 【募集期間】 7月17日(日)まで

募集要項・応募方法は社会連携教育センターWebサイトをご確認ください。

URL: http://www.hoseikyoku.jp/shakairenkei/topics/index.php?c=topics_view&pk=1656580876&target=



大分県杵築市とは…

「九州の小京都」とも呼ばれる美しい城下町で有名な杵築市。本学の創設者である伊藤修と金丸鉄の出身地でもあります。

<お問い合わせ>

法政大学教育開発支援機構 社会連携教育センター
(事務局:学務部教育支援課)
MAIL: kyoiku@hosei.ac.jp